

<学校教育目標>

歴史を刻む時計塔 レンガの校舎に弾む声 共に学び 共に生きる江小の子
やさしく 思いやりのある子 すすんで 学ぶ子
さいごまで やりぬく子 明るく たくましい子

<今年度の重点>

あいさついっぱい えがおいっぱい 夢いっぱいの江小っ子



校長 平田 弘子

年が明け、平成26(2014)年が始まりました。1月も末となりましたが、改めまして、新年明けましておめでとうございます。

今月いっぱい、校長室前の廊下に、「冬休み作品展」の作品が展示されていました。作品を鑑賞していると、一人一人が自分なりに考えたことや工夫したこと、努力したことが伝わってきて、子どもたちのがんばりとやる気を感じました。この作品展からも、有意義で思い出に残る冬休みになったのだと思い、嬉しくなりました。保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。長期の休み明けは特に、子どもたちがどうだったのか、元気な顔で登校してくれるだろうかと気がかりです。しかし、そんな心配をよそに、学校が始まると、校内中に、子どもたちの明るく元気な声が響き、活気が戻ってきました。

さて、1月25日(土)、PTAの「ニューイヤーフェスティバル」が開催されました。120名以上の参加者があり、盛大に行われました。雪のグラウンドで、いろいろなゲームを行いました。スノーモービル愛好会の皆様には、迫力満点のスノーモービルとバナナボートに大人も子どもも乗せていただきました。また、ロータリークラブの皆様に提供していただいた、江別産の新鮮な食材を使って、PTAのお母さん方に昼食用の美味しいおにぎりや豚汁、麦茶や甘酒を作ってくださいました。昼食会ときには、太鼓クラブの発表を聞きながら、お腹いっぱいになって、楽しいひとときを過ごすことができました。本当に多くの皆様方のお力添えを感じました。ありがとうございました。

また、休み中に行われました自治会連合会の懇親会に参加させていただきました。地域の自治会長様や班長様には、毎月の学校便りを回覧・掲示等していただいたり、地域での子どもたちの様子を見ていただいたりと冬休み中も含め、日頃

よりお世話になっていることに改めて感謝いたします。ありがとうございます。

明日からは2月です。気持ちも新たに、3月の卒業・修了まで、一日一日を大切にしていきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

冬道の安全・健康に注意



道路わきに大きな雪山ができ、見通しが悪くなっています。学校では、改めて冬道の安全について学年に応じた指導をしたところですが、また、これからの季節はインフルエンザ流行の本格的な到来時期でもあります。冬ならではの注意について、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。

ニューイヤーフェスティバル

ありがとうございました!

子どもたちにとって、スノーフェスティバルでの楽しみは、何と言ってもスノーモービル体験と美味しい豚汁です。雪上を勢いよく走るスノーモービルに乗った子どもたちからは大きな歓声があがりました。また、江別産の食材をふんだんに使ったおいしい豚汁とおにぎりを保護者の方々に作っていただき、お腹一杯食べました。子ども達にとっては思い出に残る楽しい一日になりました。食材を提供していただいた江別ロータリークラブの皆様、江別スノーモービル愛好会の皆様そして、PTA役員、ボランティアの皆様ありがとうございました。



2月の行事予定

- 3日(月) 交通安全の日(登校)
中学校入学説明会
- 4日(火) 児童委員会(反省)
- 5日(水) 校外スキー学習②<木曜日課>
【3年生以上 弁当】
- 6日(木) 水曜日課
- 7日(金) 心の相談員来校
(市内研究会)<5時間授業>
- 11日(火) 建国記念の日
- 13日(木) 児童会役員選挙・立会演説会
新1年生保護者説明会
読み聞かせ
- 14日(金) 市内ふれあい作品展 ~18日
- 18日(火) 特別5時間授業
PTA資源回収
- 19日(水) 特別5時間授業
- 20日(木) PTA役員選考委員会③
- 21日(金) 全校朝会(認証式)
- 25日(火) 交通安全の日(下校時)
心の相談員来校
- 26日(水) PTA役員会⑤
- 27日(木) 読み聞かせ



2月の生活目標

はじめのある生活をしよう

教育活動アンケート

ありがとうございました

昨年11月に実施した「江別小学校の教育活動に関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。

寄せられたご意見も参考にしながら、次年度の計画づくりを進めていきます。

<集約結果は裏面>

平成25年度学校評価 保護者アンケート集計結果

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
家庭数	10	15	21	21	40	32	139 (記名)
提出数	7	12	16	11	22	19	87 87

(A;そう思う、B;やや思う、
C;やや思わない、D;そうは思わない)

[上段;実数 下段;%]

評価項目		A	B	C	D	?
1	子どもは、元気に楽しく学校生活を送っている。	63 72.4	22 25.3	2 2.3	0 0.0	0 0.0
2	子どもは、意欲を持って学習に取り組み、学力が身についてきている。	29 33.3	42 48.3	11 12.6	0 0.0	5 5.7
3	子どもは、学校生活を通して、思いやりの心や自らを律する心、善悪を正しく判断する力が育ってきている。	42 48.3	39 44.8	2 2.3	1 1.1	3 3.4
4	子どもは、進んで健康や体力づくりに励んでいる。	24 27.6	34 39.1	25 28.7	0 0.0	4 4.6
5	学校は、学校・学級だよりやホームページ、懇談会などを通して、必要な情報を保護者や地域へ伝えるよう努めている。	45 51.7	32 36.8	5 5.7	1 1.1	4 4.6
6	学校は、読み聞かせや図書ボランティア、人権教室や稲作体験など、地域の人材や施設等を活用して教育活動の充実にも努めている。	47 54.0	30 34.5	1 1.1	0 0.0	9 10.3
7	学校は、少人数指導(算数)やTT(チームティーチング)指導などにより、子どもたち一人一人に目を向けた授業づくりに努めている。	36 41.4	35 40.2	5 5.7	1 1.1	10 11.5
8	学校は、家庭での学習習慣の定着のために、学習課題の提示などの工夫に努めている。	38 43.7	34 39.1	12 13.8	0 0.0	3 3.4
9	学校は、戸外清掃や校内ゴミ拾い、花壇の草取り等の清掃整備活動やユニセフ募金活動、赤い羽根募金など、子どもが主体となったボランティア活動の充実にも努めている。	34 39.1	37 42.5	7 8.0	1 1.1	8 9.2
10	学校は、保健指導や食の指導を通して子どもたちの健康安全への意識を高める教育に努めている。	33 37.9	38 43.7	4 4.6	1 1.1	11 12.6
11	保護者は、家庭での教育について(家庭学習や家庭でのきまり等)、学校と連携しながら行っている	29 33.3	37 42.5	14 16.1	2 2.3	5 5.7

記述意見

◎全体に関わるご意見と学校の見解を掲載します。(主旨が重複しているものはまとめています)

<7番・8番に関わって(少人数指導や宿題、家庭学習等)>

☆宿題や他の自主学習について、毎日やろうという意欲が高まる工夫をしてほしい。

☆少人数指導について本人も分からないところがあれば気軽に開けて理解できると言っていますが、問題が変わるとまた、つまづくこともあります。何か、その日に習ったプリント類があればいただきたいと思っています。

☆毎日楽しく学校に通っています。2学期制になり通知表が夏休み前ではないので、苦手な所を長期休みに取り組むのが少し難しくなり、家庭学習の内容も本人の好きなものになりがちです。

☆担任の先生は毎日プリントを出していただき、家庭学習の定着の為大変助けていただき、ありがとうございます。

☆少し多すぎるのかなと思います。

☆子どもにまかせっきりなのでわかりません。漢字はがんばってます。

【見解】

◎家庭での学習は、生活リズムを整え、学習習慣を身につける上で重要です。そのために家庭と連携しながらより学習効果の高い家庭学習を目指していきます。次年度は、生活リズムのチェック表なども活用し、子ども自身が学習計画を立て自主的に取り組めるよう工夫することや学習する内容も個々の課題により合ったものを提示するように改善していきます。

<10番に関わって(学習習慣・家庭学習)>

☆学校でもインフルエンザ、胃腸炎など、流行っている時は、保健日よりだけでなく、学級通信でも一言書いてもらえると助かる。

【見解】

◎学級通信は、子どもたちの学習や生活の様子をお伝えし、家庭との連携を図る上で重要です。できる限り詳しい情報の提供を考えておりますが、同時に個人情報の取り扱いについても慎重に行ってまいります。子どもたちの健康、保健、衛生面についてはご家庭の協力が 必要ですので、流行性の疾患などの情報は、全校的な傾向などを学級通信でお知らせしてまいります。

<その他>

☆先生の目が行き届き、とても安心していますし、子どもたちも充実した学校生活を送れていると感じます。最初は人数が少ないのが気になったのですが、今では逆に素晴らしいし、仲間意欲ができてるように思います。

☆先生方は一生懸命取り組んでくださっていると思います。逆に自分が力不足で申し訳ないと感じています。☆Aに丸をつけていますが、まだまだ子どもがリズムをつけていないので、私自身でも気をつけていかなければならないと考えています。

☆全体的には表面的に取り組まれていると思いますが、あまり熱意が感じられません。親がなのか学校なのか、にわとりが先か卵が先かみたいにどちらかどうとは言えないと思いますが…。親、学校、地域が相互に本当の意味で連携していけるようになればなあと思っています。

【見解】

◎今後とも、家庭・学校・地域が連携して子どもたちの教育を行うことが求められます。そのためには、めざす子ども像を共有化し、それぞれの役割を明らかにしたうえで協力していくことが重要です。保護者の皆様との連携を強めるためにも授業参観や懇談会、各種学校行事への参加、教育活動へのご意見や要望をいただく機会を広げる等の取り組みを充実してまいりますので、お子様の姿から保護者の立場で忌憚のないご意見、評価を頂きたいと考えております。

【アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。】